

8-3-1 企画委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数:10回

(2) 委員会の構成

当委員会は、次に示す3つの専門委員会と3つのWGで構成されている。詳細な活動内容については専門委員会・WGの年報を参照されたい。

- ・登録・法制度専門委員会
- ・土木・建築連携まちづくり専門委員会
- ・契約のあり方専門委員会
- ・建設コンサルタントの新たな役割検討WG
- ・報酬のあり方検討WG
- ・持続可能な社会構築検討WG

(3) 委員会の活動

a) 企画委員会

各専門委員会・WGの提案について審議・検討し、企画部会又は常任委員会に上申および報告した。

b) 登録・法制度専門委員会

令和5年に実施した自治体(47都道府県及び20政令指定都市)向けアンケートを踏まえ、追加の自治体ヒアリングを実施。課題等の整理を行い、自治体における登録制度活用状況に関する報告書案の作成を行った。

c) 土木・建築連携まちづくり専門委員会

JCCA×JIA(公益社団法人日本建築家協会)協働シンポジウムの開催に向けた検討を行った。

d) 契約のあり方専門委員会

土木設計業務の契約等に関する課題(著作権、損害賠償責任のあり方、準委任契約の扱い)について、国土交通省建設振興課及び技術調査課との勉強会を1回実施し、ソフトウェアに関する著作権を受注者へ留保する特記仕様書案を提出した。また、契約のあり方講習会「土木設計と法的問題」を2回(11/22、12/16)開催し、計500人以上の参加を得た。

e) 建設コンサルタントの新たな役割検討WG

インフラを取り巻く環境の未来予想に基づき、建設コンサルタントの新たな役割と新たな役割により社会課題を解決するDXの取組みに関して取りまとめた「建設コンサルタントの新たな役割提言(案)」に対して、異業種連携や事業主体、地域・広域コンサルタントの技術連携等を進める上でのツールとして、会員各社の技術検索ができるプラットフォームの検討を行った。

f) 報酬のあり方検討WG

マネジメントシステム委員会委員長、常任理事会、常任委員会及び木下 誠也 先生からの意見を反映し、「建設コンサルタントの新たな報酬の在り方への提案」を作成した。本提案は、常任理事会の承認を経て、令和7年1月28日に建コン協会会員向けホームページに掲載された。また、本提案をまとめたことにより、「功績賞」として表彰されることとなった。

g) 持続可能な社会構築検討WG

DE&Iの推進が求められる中、女性活躍に焦点を絞ってアンケートとインタビューを実施した。アンケートは、①会員企業の取組み実態(回答数134社)と②職員の意識調査(回答数2,079名)を行い、現在取りまとめ中である。また女性活躍のロールモデルとして5名の女性職員にインタビューを実施し記事として取りまとめた。インタビュー記事については今後公開を予定している。

2. 次年度の活動について

次年度以降も、中期行動計画2023~2026に基づき、現在実施中の活動を継続する。

(企画委員会委員長 万名 克実)